

回 答 書

**この回答書は2/14時点のものであり、
設計変更前の回答です**

原村の未来に種を撒くつもりで、新たな事業を模索し奮闘しております。ご審議の程、宜しくお願いします。

清水昌敏氏 環境保全審議会 質問事項【期限：R4.2.14(月)17:00】

	質 問	回 答
1	大量の盛土（客土）はどこから持ってくるのか。	災害復旧工事などで発生する建設残土などです。
2	搬入土量は。	約2万立米です。
3	敷地境界の断面は、どれも切りっぱなし表示だが、どのような仕様の法面とするのか。	一割五分の法面を形成します。（今後の草刈等を考慮し大型ブロック積を検討中。）
4	従前道路側法面の土羽形成はどのような方法か。大雨などで道路面に泥が流れないか。	一割五分の法面を形成します。（今後の草刈等を考慮し大型ブロック積を検討中。） 畑地の勾配は通常の圃場整備地よりも緩やかです。よって、圃場整備地以上に泥が流出する懸念はないと考えます。
5	土地利用計画図に、法面（土羽）・周囲との高低差の表示がないため、法面と周囲4m通路の関係が理解できない。	従前道路から法面は一割五分で形成し、4mの通路は法面の上に設ける形になります。（法面には大型ブロック積を検討中。） 4mの通路は、ブドウ畑内の管理のために設けるもので、畑地と平坦になります。
6	A'点最高盛り土5.79mとなっている。これは、C点の高さまで土盛りすることだと思いますが、諏訪プレスさんの建物横からの下り道が日陰になるのではないかと心配（道路が急坂でありスリップ事故も起きた事があります）	ご指摘のとおりです。 もともと、下り道の部分は諏訪プレスの建物以外の場所は山林で狭く、かなり凍結していました。 現在は、伐採により凍結はありません。 今後盛土を行っても、法面勾配があるので、以前より日影にはならないはずで、私共のせいでも事故が起きることのないよう、最善の処置を致します。
7	盛土を5mではなく、切土・盛土それぞれ2mずつくらいにすることはできないのか。	作物に適した日射量を確保するための最善の計画ですので、変更の予定はありません。
8	埋蔵文化財との協議はなされているか。	申請地は、埋蔵文化財の届出が必要な場所ではありませんが、担当課の佐々木係長とは話をしております。
9	畑の雨水対策で、地下浸透で処理できるか。	圃場整備地の畑地と同様に考えて頂きたいと思っております。 樹園地は、畑地より草地になる面積が大きく、通常の畑地よりも、保水力は大きいと考えられます。
10	土中水（雨水浸透水）の処理（排水）は、どのような仕様となるのか。	圃場整備地の畑地と同様に考えて頂きたいと思っております。 樹園地は、畑地より草地になる面積が大きく、通常の畑地よりも、保水力は大きいと考えられます。
11	上記7の排水はどこへいくのか。側溝を作るのか。	自然勾配により、諏訪湖へ行くと思っております。 側溝を作る計画はありません。
12	全体面積が20076.78㎡と広い。大雨の時、低地の北側村道付近に雨水の流出が心配されるが、大丈夫か。	圃場整備地の畑地と同様に考えて頂きたいと思っております。 樹園地は、畑地より草地になる面積が大きく、通常の畑地よりも、保水力は大きいと考えられます。 流量計算書によれば、浸透能力には余裕があると考えます。 北側道路沿いには排水路（側溝）があり、これより流出することは無いと思われれます。
13	盛土による土砂流出の懸念はないか。	安全盛土勾配で施工するので問題はないと考えています。